学校番号	３０９

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選古典Ｂ　改訂版　（三省堂）　（第２年次では古文・漢文ともに第Ｉ部を扱う）						
副教材等	・わかる・読める・解ける　古文単語 330（尚文出版） ・トータルサポート新国語便覧（大修館書店） ・ポイント書く解くマスター古文２（京都書房） ・読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版） ・読解をたいせつにする体系古典文法準拠ノート（数研出版） ・読解をたいせつにする体系古典文法ワーク（数研出版） ・古典文法習得のための助動詞マスターノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次で学習した知識を踏まえ、それを土台にさらに発展させていきましょう。
・予習として、本文をノートに写す、単語の意味を調べるなどを積極的に取り入れましょう。
・授業で習ったことは必ず復習をし、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけていきましょう。
・自学習のひとつとして問題集の提出を定期的に行います。授業中に学んだことを生かしつつ、問題を解く力を養ってください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。　　・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・古典としての「古文」・「漢文」を読む能力を養う。
・様々な古典の文章を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
・古典についての理解や関心を広めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す･聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	･古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、当時の伝統や文化対する理解や関心を積極的に深めようとしている。			･古典を読むことで、それぞれの作品に表れた思想や感情などを的確に捉え自分の考えを深めるとともに、発展させている。	･伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	･行動の観察			･行動の分析 ･記述の点検（ワークシート）	・行動の観察 ・発問（ワークシート/ノート等） ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期(前半)	説話	教材: ・『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」 ・『古今著聞集』 「大江山」	○			◎	○	a:語句や表現に即して、説話の展開を読み取っている。 d:文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。 e:『宇治拾遺物語』及び『古今著聞集』について文学史的知識を持っている。基本的な助動詞の用法について理解している。和歌の修辞法について理解している。	a,d,e:行動の観察及び、記述の点検/小テスト 定期考査
	随筆	教材: ・『枕草子』 「すさまじきもの」 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 ・『方丈記』 ・「ゆく河の流れ」	○			○	◎	a:内容を踏まえて筆者の思いや当時の雅な宮中での暮らしなどを理解しようとしている。 d:筆者の心情や人生観を読み取っている。 e:三大随筆について文学史的知識を持っている。文中の敬語について識別できる。重要古語などについて理解している。	
一学期(後半)	物語	教材: ・『伊勢物語』 「初冠」 ・『大和物語』 「姨捨」	○			◎	○	a:物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。 d:文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。 e:『竹取物語』に始まる物語の文学史的知識及び歌物語の特徴を理解できている。過去や完了の助動詞などを文法的に識別できている。重要古語などについて理解している。	a,d,e:行動の観察及び、記述の点検/小テスト 定期考査

	小話	教材:漢文 ・『世説新語』 「漱石枕流」 ・『笑府』 「畏饅頭」 ・『春秋左氏伝』 「病入膏肓」	○			◎	○	a:話のおもしろさを味わい登場人物の生き方などについて考えようとしている。 d:登場人物の考え方を読み取っている。 e:基本的な句法・語法を理解している。	
二学期(前半)	随筆	教材: ・『平家物語』 「能登殿の最期」	○			○	◎	a:『軍記物語』を読むことで当時の戦さや様々な人間模様などに興味を持つとともに、それらを理解しようとしている。 d:語り物ならではの調子・リズムなど的確に読み取り、音便や言葉遣いの効果を理解している。 e:その他の『軍記物語』なども関連づけて知識を深めている。係り結び・・敬語法・重要古語などについて理解している。	a,d,e: 行動の観察及び、記述の点検/小テスト 定期考査
		教材: ・『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「北山の垣間見」	○			◎	○	a:『源氏物語』の構成や内容について関心を持とうとしている。 d:物語の登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取っている。 e:『源氏物語』や紫式部について理解している。また『竹取物語』や『伊勢物語』との関連性について理解している。助動詞・呼応の副詞・基本的な敬語法(敬語の種類や敬意の対象を正確に捉える)・重要古語などについて理解している。	

	史伝	教材: ・『史記』 「鴻門之会」	○			◎	○	a:著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 d:話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。 e:基本的な句法・語法を理解している。	a,d,e: 行動の観察及び、記述の点検/小テスト 定期考査
学年末	物語	教材: ・『大鏡』 「弓争ひ」	○			◎	○	a:『大鏡』を読んで、登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 d:登場人物の人間関係や行動、心情を読み取っている。対話形式により物語が進行する効果について理解している。 e:歴史物語や、『大鏡』について理解しているか。基本的な敬語法について理解できている。	a,d,e: 行動の観察及び、記述の点検/小テスト 定期考査
		教材: ・『更級日記』 「あこがれ」 「源氏の五十余巻」	○			◎	○	a:『更級日記』を読んで、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。 d:筆者の少女時代の心情と共に、それを回顧する晩年の心情を理解している。 e:日記文学や『更級日記』・菅原孝標女について理解している。助詞(「な」「む」・「の」・「が」)・重要古語などについて理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。